

# ヒューマンタッチ総研 Monthly Report

令和元年 12 月

ヒューマンタッチ総研レポートでは、建設業に特化して人材関連の様々な情報、最新の雇用関連データを月に1回のペースで発信していきます。ご愛読いただければ幸いです。

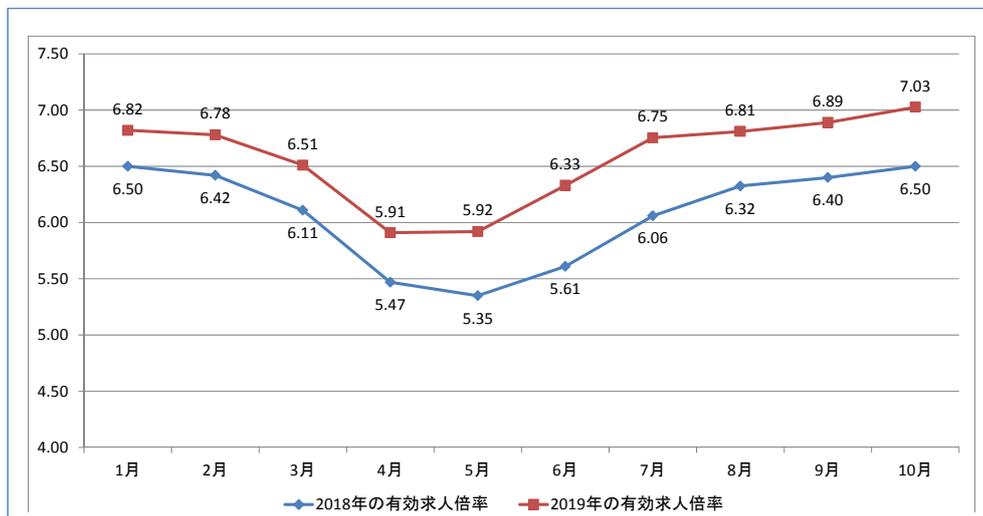
## 1 建設業界のトピックス

今月は、2019年10月までの建設技術者の雇用動向に関するデータをまとめました。

### ■建設技術者の有効求人倍率はすべての月で前年同月を上回る

2019年1月～10月までの公共職業安定所(ハローワーク)における建設技術者の有効求人倍率の推移を前年と比較して見ると、直近の10月は前年同月より0.53ポイント高い7.03倍となるなど、すべての月で前年同月を上回っており、建設技術者を採用することが前年以上に困難な状況が続いています(図表①)。有効求人倍率の先行指標となる新規求人倍率は10月において前年同月比で0.86ポイント高い9.95倍となっており、2019年平均の有効求人倍率は過去最高を記録

【図表①建設技術者の有効求人倍率の推移】

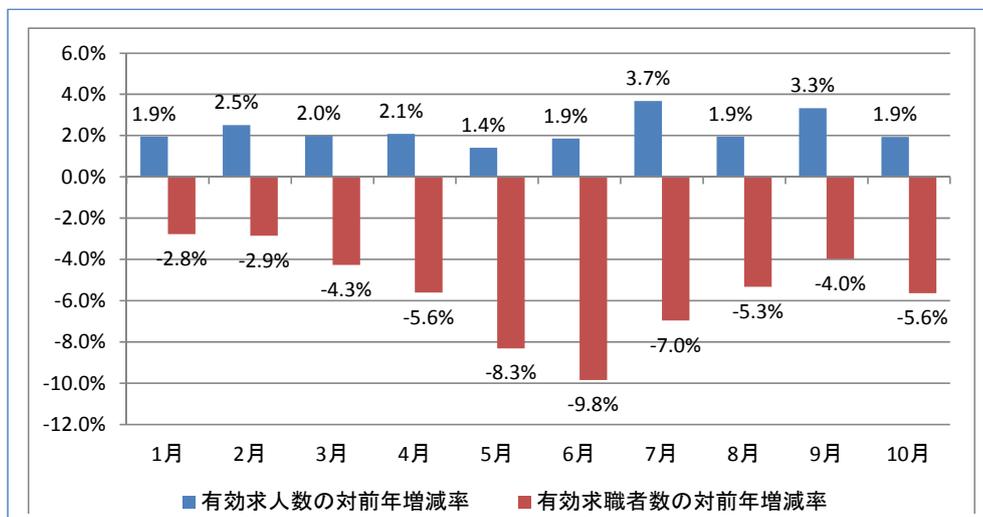


した2018年の6.18倍を超える可能性が高いと考えられます。

### ■有効求人数が増加するも有効求職者数は減少、人材需給ギャップの拡大に拍車がかかる

次に、建設技術者の有効求人数と有効求職者数の対前年増減率の推移を見ると、直近の10月では有効求人数は1.9%増加しているものの、有効求職者数は▲5.6%減少するなど、すべての月で有効求人数は前年を上回り、有効求職者数は前年を下回っています(図表②)。

【図表②建設技術者の有効求人数・有効求職者数の対前年増減率の推移】



好調に推移する建設投資を背景に人材需要が増加するなか、建設技術者として働きたい求職者が減少することにより、人材の需給ギャップの拡大に拍車がかかっている状況であり、新規求職者の掘り起こしが大きな課題になりそうです。

出典：図表①②ともに厚生労働省「一般職業紹介状況」から作成

## 2 2019年10月の建設業界の雇用関連データ(2019年11月29日公表)

### (1)建設業の就業者数・雇用者数・新規求人数

◆建設業の就業者数は494万人(前年同月比99.4%)と5カ月連続で減少した。

	2018年10月	11月	12月	2019年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
就業者数(万人)	497	502	482	473	496	509	503	499	504	495	508	502	494
前年同月比	98.4%	101.2%	97.6%	93.1%	99.8%	101.6%	99.8%	101.0%	98.2%	97.4%	98.3%	96.9%	99.4%
雇用者数(万人)	421	408	391	389	400	412	417	410	411	408	417	412	407
前年同月比	101.7%	101.0%	96.1%	93.1%	99.3%	101.7%	102.5%	101.7%	97.9%	98.1%	100.0%	97.9%	96.7%

出典:総務省「労働力調査」より作成

◆公共職業安定所(以下:ハローワーク)における新規求人数は77,093人(前年同月比102.9%)と2カ月連続で増加。

＜建設業の新規求人数の推移(新規卒者とパートを除く)＞

	2018年10月	11月	12月	2019年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
新規求人数(人)	74,934	69,755	64,114	73,920	72,460	72,144	74,997	68,831	74,247	76,101	65,764	72,547	77,093
前年同月比	105.2%	107.6%	100.3%	107.2%	105.7%	98.3%	105.8%	97.9%	100.3%	108.0%	97.2%	100.3%	102.9%

出典:厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

### (2)建設技術職の雇用動向

◆ハローワークにおける建築・土木・測量技術者(常用・除くパート)の有効求人倍率は前年同月比0.53ポイント上昇して7.03倍となった。有効求人倍率は53カ月連続で前年同月を上回っており、厳しい人手不足の状況は長期化している。

◆有効求人倍率の先行指標となる新規求人倍率を見ると、前年同月比0.86ポイント上昇して9.95倍となった。東京オリンピック・パラリンピックを直前にして、今後もさらに厳しい人材不足が続くようである。

◆有効求人数は対前年同月比101.9%と45カ月連続で前年同月を上回り、建設技術者への人材需要は高水準が続いている。一方、有効求職者数は対前年同月比94.4%となり、長期的に減少傾向が続いている。

◆充足率は前年同月比で0.6ポイント低下して3.7%となり、ハローワークで建設技術者を採用することは困難な状況が続いている。

\* 充足率=(就職件数/新規求人数)×100(%)

＜ハローワークにおける建築・土木・測量技術者の雇用関連指標の推移(常用・除くパート)＞

	2018年10月	11月	12月	2019年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
新規求人数(人)	21,096	19,613	18,107	19,685	19,775	19,014	20,135	19,124	20,600	20,772	18,980	19,807	21,633
有効求人人数(人)	58,669	59,268	58,050	56,674	57,304	57,929	58,062	57,626	58,810	59,958	58,863	58,695	59,809
新規求職者数(人)	2,322	2,043	1,675	2,305	2,212	2,328	3,303	2,290	2,004	2,254	1,923	1,934	2,175
有効求職者数(人)	9,021	8,740	8,226	8,312	8,456	8,903	9,821	9,732	9,285	8,878	8,643	8,520	8,513
新規求人倍率	9.09	9.60	10.81	8.54	8.94	8.17	6.10	8.35	10.28	9.22	9.87	10.24	9.95
有効求人倍率	6.50	6.78	7.06	6.82	6.78	6.51	5.91	5.92	6.33	6.75	6.81	6.89	7.03
就職件数	910	809	694	676	754	937	899	895	854	798	741	774	802
充足率	4.3%	4.1%	3.8%	3.4%	3.8%	4.9%	4.5%	4.7%	4.1%	3.8%	3.9%	3.9%	3.7%

＜ハローワークにおける建築・土木・測量技術者の雇用関連指標の対前年同月比(常用・除くパート)＞

	2018年10月	11月	12月	2019年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
新規求人数	108.2%	105.0%	97.3%	104.6%	104.2%	97.4%	104.7%	100.8%	101.7%	107.7%	100.6%	102.6%	102.5%
有効求人人数	102.3%	103.9%	103.5%	101.9%	102.5%	102.0%	102.1%	101.4%	101.9%	103.7%	101.9%	103.3%	101.9%
新規求職者数	102.6%	100.0%	96.2%	98.9%	97.2%	90.2%	91.8%	85.1%	86.8%	101.7%	91.4%	99.5%	93.7%
有効求職者数	94.9%	97.8%	97.6%	97.2%	97.1%	95.7%	94.4%	91.7%	90.2%	93.0%	94.7%	96.0%	94.4%
新規求人倍率	0.48	0.46	0.13	0.46	0.60	0.61	0.76	1.30	1.51	0.52	0.91	0.31	0.86
有効求人倍率	0.47	0.40	0.40	0.32	0.36	0.40	0.44	0.57	0.72	0.69	0.49	0.49	0.53
就職件数	93.2%	95.6%	91.9%	99.0%	99.7%	99.8%	94.2%	89.5%	87.6%	91.4%	95.9%	95.7%	88.1%
充足率	-0.7%	-0.4%	-0.2%	-0.2%	-0.2%	0.1%	-0.5%	-0.6%	-0.7%	-0.7%	-0.2%	-0.3%	-0.6%

出典:厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

### (3)建設技能工の雇用動向

◆ハローワークにおける建設・採掘の職業(常用・除くパート)の有効求人倍率は、前年同月比 0.55 ポイント上昇して 5.92 倍となった。54 カ月連続で前年同月を上回っており、建設技能工についても厳しい人手不足の状況が長期化している。

◆有効求人倍率の先行指標となる新規求人倍率は前年同月比 1.21 ポイント上昇して 8.45 倍となった。東京オリンピック・パラリンピックを直前にして、今後もさらに厳しい人材不足が続くそうである。

◆有効求人数は対前年同月比 100.4%と 46 カ月連続で前年同月を上回り、建設技能工への需要は高水準が続いている。一方、有効求職者数は前年同月比 91.0%となり、長期的に減少傾向が続いている。

◆充足率は前年同月より 1.1 ポイントダウンして 6.5%となり、ハローワークで建設技能工を採用するのは困難な状況が続いている。

\* 充足率=(就職件数/新規求人数)×100 (%)

<公共職業安定所(ハローワーク)における建設・採掘の職業の雇用関連指標の推移(常用・除くパート)>

	2018年10月	11月	12月	2019年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
新規求人数(人)	38,940	35,934	32,854	38,564	38,050	37,514	39,022	35,856	38,176	39,508	34,132	37,952	39,971
有効求人数(人)	110,357	110,524	105,871	105,856	108,443	112,572	113,085	110,537	111,213	111,911	109,854	110,223	110,815
新規求職者数(人)	5,370	4,657	4,146	5,899	5,250	5,787	6,475	5,362	4,939	5,074	4,443	4,666	4,723
有効求職者数(人)	20,557	19,430	18,375	19,272	19,859	20,954	21,695	21,198	20,472	19,997	19,166	18,957	18,714
新規求人倍率	7.25	7.72	7.92	6.54	7.25	6.48	6.03	6.69	7.73	7.79	7.68	8.13	8.46
有効求人倍率	5.37	5.69	5.76	5.49	5.46	5.37	5.21	5.21	5.43	5.60	5.73	5.81	5.92
就職件数	2,957	2,730	2,231	2,132	2,391	2,844	2,949	2,881	2,694	2,874	2,311	2,579	2,591
充足率	7.6%	7.6%	6.8%	5.5%	6.3%	7.6%	7.6%	8.0%	7.1%	7.3%	6.8%	6.8%	6.5%

<公共職業安定所(ハローワーク)における建設・採掘の職業の雇用関連指標の前年同月比(常用・除くパート)>

	2018年10月	11月	12月	2019年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
新規求人数	104.9%	107.5%	101.7%	105.8%	106.5%	99.6%	104.7%	96.8%	100.5%	107.6%	96.0%	101.3%	102.6%
有効求人数	104.6%	104.9%	104.9%	105.1%	105.3%	104.2%	103.9%	100.6%	101.0%	102.1%	101.5%	102.1%	100.4%
新規求職者数	91.9%	90.0%	87.9%	94.5%	92.1%	85.3%	89.5%	84.8%	88.8%	96.9%	81.2%	98.1%	88.0%
有効求職者数	89.3%	89.6%	89.8%	91.9%	93.1%	90.8%	91.4%	89.4%	90.2%	92.9%	91.0%	93.0%	91.0%
新規求人倍率	0.90	1.26	1.07	0.70	0.98	0.93	0.88	0.83	0.91	0.78	1.19	0.30	1.21
有効求人倍率	0.78	0.83	0.83	0.69	0.63	0.69	0.63	0.58	0.58	0.51	0.59	0.51	0.55
就職件数	89.9%	91.5%	89.5%	90.8%	92.8%	96.1%	93.7%	89.1%	87.2%	98.3%	87.8%	100.0%	87.6%
充足率	-1.3%	-1.3%	-0.9%	-0.9%	-0.9%	-0.3%	-0.9%	-0.7%	-1.1%	-0.7%	-0.6%	-0.1%	-1.1%

出典:厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

### 3 2019年10月の雇用関連データのまとめ(2019年11月29日公表)

#### (1) 主要な雇用環境指標の推移

◆ 就業者数、雇用量ともに 82 カ月連続で前年同月を上回る

就業者数は 6,787 万人(前年同月比 62 万人増)、雇用量は 6,048 万人(同 50 万人増)となり、ともに 2013 年 1 月以降 82 カ月連続で前年同月を上回り就業率は 61.2%となった。男女別に就業者数を見ると男性が 16 万人増、女性が 46 万人増となり、女性の増加が顕著である。

◆ 完全失業者数は 1 万人の増加、完全失業率は前月と同じ

完全失業者数は対前年同月比 1 万人増加して 164 万人となった。2 カ月連続の増加である。完全失業率(季節調整値)は前月と同じで 2.4%であった。

【主要雇用環境指標の推移】

	2018年10月	11月	12月	2019年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
15歳以上人口(万人)	11,104	11,103	11,093	11,097	11,088	11,090	11,089	11,093	11,093	11,096	11,091	11,092	11,097
対前年同月増減(万人)	-10	-10	-10	-5	-12	-10	-9	-10	-17	-8	-7	-10	-7
労働力人口	6,888	6,877	6,815	6,793	6,812	6,861	6,884	6,898	6,909	6,888	6,908	6,936	6,951
対前年同月増減(万人)	126	147	99	71	68	68	33	42	54	56	59	63	63
就業者数(万人)	6,725	6,709	6,656	6,628	6,656	6,687	6,708	6,732	6,747	6,731	6,751	6,768	6,787
対前年同月増減(万人)	144	157	114	66	78	67	37	34	60	71	69	53	62
就業率(15歳以上人口に占める就業者の割合)	60.6%	60.4%	60.0%	59.7%	60.0%	60.3%	60.5%	60.7%	60.8%	60.7%	60.9%	61.0%	61.2%
対前年同月増減	1.4%	1.5%	1.1%	0.6%	0.8%	0.7%	0.4%	0.4%	0.6%	0.7%	0.7%	0.5%	0.6%
雇用量(万人)	5,996	5,983	5,963	5,953	5,962	5,948	5,959	5,993	6,023	6,034	6,025	6,017	6,046
対前年同月増減(万人)	119	118	100	73	87	76	43	62	83	81	72	51	50
完全失業者数(万人)	163	168	159	166	156	174	176	165	162	156	157	168	164
対前年同月増減(万人)	-18	-10	-15	7	-10	1	-4	7	-6	-16	-13	6	1
完全失業率	2.4%	2.5%	2.4%	2.5%	2.3%	2.5%	2.4%	2.4%	2.3%	2.2%	2.2%	2.4%	2.4%

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

【男女別の就業者数/就業率の推移】

		2018年10月	11月	12月	2019年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
就業者数 (万人)	男性	3,734	3,742	3,723	3,692	3,711	3,713	3,725	3,745	3,744	3,736	3,749	3,740	3,750
	対前年同月増減	43	76	57	11	30	22	12	-1	7	30	29	5	16
	内65歳以上	521	520	511	502	515	526	530	541	534	525	536	543	540
	対前年同月増減	32	41	34	12	17	19	14	23	22	18	19	17	19
	女性	2,991	2,967	2,934	2,935	2,945	2,974	2,983	2,987	3,003	2,996	3,002	3,028	3,037
	対前年同月増減	101	82	59	53	48	45	25	35	53	42	40	48	46
就業率	男性	69.6%	69.8%	69.5%	68.9%	69.3%	69.3%	69.5%	69.9%	69.9%	69.7%	69.9%	69.8%	69.9%
	対前年同月増減	0.85%	1.48%	1.13%	0.23%	0.61%	0.46%	0.26%	0.02%	0.20%	0.59%	0.54%	0.11%	0.31%
	内65歳以上	33.7%	33.6%	33.0%	32.4%	33.2%	33.9%	34.1%	34.8%	34.3%	33.7%	34.4%	34.8%	34.6%
	対前年同月増減	1.68%	2.29%	1.83%	0.42%	0.74%	0.88%	0.53%	1.13%	1.09%	0.86%	0.92%	0.81%	0.94%
	女性	52.1%	51.7%	51.2%	51.2%	51.4%	51.9%	52.0%	52.1%	52.4%	52.2%	52.3%	52.8%	52.9%
	対前年同月増減	1.80%	1.48%	1.08%	0.95%	0.90%	0.85%	0.49%	0.67%	1.02%	0.77%	0.70%	0.85%	0.81%
内65歳以上	就業率	18.0%	17.9%	17.1%	17.0%	16.9%	17.7%	18.0%	17.8%	17.7%	17.5%	18.0%	18.6%	18.6%
	対前年同月増減	1.11%	1.52%	0.97%	0.87%	0.28%	0.28%	0.12%	-0.07%	0.00%	0.30%	0.30%	0.70%	0.55%

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

◆ 就業者数の増加率が最も高いのは学術研究、専門・技術サービス業の 5.3%増

産業別に就業者数を見ると、就業者数の増加率が最も高かったのは学術研究、専門・技術サービス業であり、前年同月比 5.3%増加して 259 万人となった。建設業は対前年同月比▲0.6%減少して 494 万人であった。

【主要産業別の就業者数・雇用量】

		農業・林業	建設業	製造業	情報通信業	運輸業 郵便業	卸売業 小売業	金融業 保険業
就業者	実数(万人)	218	494	1,032	225	344	1,072	167
	対前年同月増減率	2.3%	-0.6%	-1.9%	-3.0%	0.9%	-1.5%	1.2%
雇用量	実数(万人)	68	407	984	212	333	1,001	164
	対前年同月増減率	9.7%	-0.7%	-1.8%	-4.1%	1.2%	-1.0%	0.6%
		不動産業 物品賃貸業	学術研究 専門・技術 サービス業	宿泊業 飲食サービス 業	生活関連 サービス業 娯楽業	教育 学習支援業	医療・福祉	サービス業 (他に分類され ない)
就業者	実数(万人)	131	259	453	253	329	853	454
	対前年同月増減率	2.3%	5.3%	3.2%	4.5%	0.3%	1.9%	1.6%
雇用量	実数(万人)	118	203	387	195	306	825	403
	対前年同月増減率	3.5%	6.3%	3.2%	3.2%	1.3%	1.6%	2.0%

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

◆正規社員数は増加に転じ、非正規の社員数は 25 カ月連続で増加

雇用者数を正規、非正規別に見ると、正規の職員・従業員数は 3,526 万人(前年同月比 4 万人増)と増加に転じた。非正規の職員・従業員数は 2,196 万人(同 40 万人増)となり、25 カ月連続で前年同月を上回った。非正規社員比率は 38.4%で前年同月より 0.4 ポイント上昇した。

【雇用形態別雇用者数の推移】

	2018年10月	11月	12月	2019年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
役員を除く雇用者数(万人)	5,678	5,661	5,634	5,628	5,643	5,616	5,616	5,641	5,679	5,699	5,688	5,683	5,721
正規の職員・従業員(万人)	3,522	3,519	3,478	3,474	3,486	3,439	3,500	3,535	3,531	3,526	3,497	3,481	3,526
構成比	62.0%	62.2%	61.7%	61.7%	61.8%	61.2%	62.3%	62.7%	62.2%	61.9%	61.5%	61.3%	61.6%
対前年同月増減(万人)	37	63	37	27	56	22	33	24	30	4	-18	-9	4
非正規の職員・従業員(万人)	2,156	2,142	2,156	2,154	2,157	2,176	2,116	2,106	2,148	2,174	2,190	2,202	2,196
構成比	38.0%	37.8%	38.3%	38.3%	38.2%	38.7%	37.7%	37.3%	37.8%	38.1%	38.5%	38.7%	38.4%
対前年同月増減(万人)	115	81	75	35	37	65	12	27	46	71	82	59	40

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

◆最も失業者数が減少したのは 35 歳～44 歳

失業者の状況を年齢層別・男女別に見ると、最も失業者数が減少したのは 35 歳～44 歳であり前年同月比 6 万人減少した。次いで、55 歳～64 歳が同 3 万人減少した。一方、最も失業者数が増加したのは 15 歳～24 歳であり、同 10 万人の増加となった。完全失業率が最も改善したのは 15 歳～24 歳と 55 歳～64 歳の男性で 0 あり、ともに 0.5 ポイント低下した。次いで、35 歳～44 歳の女性が 0.4 ポイント低下した。

【年齢階級別・男女別完全失業者数・完全失業率】

年齢階級	完全失業者数 (万人)	対前年同月増減 (万人)	完全失業率 (季節調整値)	対前月増減 (ポイント)
総数	164	1	2.4%	0.0
(男)	98	-3	2.5%	-0.1
(女)	67	5	2.3%	0.1
15歳～24歳	29	10	5.0%	0.2
(男)	15	3	4.6%	-0.5
(女)	13	6	5.3%	0.7
25歳～34歳	37	1	3.4%	0.0
(男)	22	0	3.5%	0.0
(女)	15	0	3.2%	0.0
35歳～44歳	27	-6	1.9%	0.2
(男)	15	-4	2.0%	0.0
(女)	12	-2	1.9%	-0.4
45歳～54歳	34	1	2.1%	0.2
(男)	20	1	2.2%	0.3
(女)	14	0	1.8%	-0.1
55歳～64歳	25	-3	2.1%	-0.2
(男)	16	-3	2.3%	-0.5
(女)	9	-1	1.9%	0.2
65歳以上	13	0	1.4%	0.1
(男)	10	0	-	-
(女)	3	0	-	-

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

◆「勤め先や事業の都合による離職」が増加

完全失業者数を求職理由別に見ると、最も増加したのは「勤め先や事業の都合による離職」であり、前年同月比 3 万人増の 23 万人となった。

【求職理由別完全失業者数の推移】

	2018年10月	11月	12月	2019年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
勤め先や事業の都合による離職(万人)	20	22	20	22	20	19	21	23	22	19	20	21	23
対前年同月増減(万人)	-13	-6	-10	-2	0	-3	-4	1	-1	-6	-3	0	3
定年または雇用契約終了による離職(万人)	17	17	17	17	14	16	20	16	15	18	17	17	13
対前年同月増減(万人)	-1	-3	-1	2	-1	0	-2	-3	-5	0	-4	-3	-4
自発的な離職(自己都合)(万人)	71	75	73	72	66	79	75	68	66	70	73	73	73
対前年同月増減(万人)	-6	2	-2	5	-6	6	2	4	-3	-2	0	-2	2
新たに求職	39	37	36	40	38	40	39	40	43	35	32	40	40
対前年同月増減(万人)	-10	-14	-11	4	-4	-5	-4	3	4	-5	-6	5	1

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

## (2)有効求人倍率・新規求人倍率・正社員求人倍率の推移

◆有効求人倍率は前月と同じで 1.57 倍

ハローワークにおける有効求人倍率(季節調整値)は前月と同じで 1.57 倍、正社員の有効求人倍率も前月と同じで 1.13 倍であった。有効求人倍率の先行指標となる新規求人倍率は 2.44 倍で前年同月よりも 0.4 ポイント上昇している。

【ハローワークにおける有効求人倍率(パートタイムを含む/季節調整値)の推移】

	2018年10月	11月	12月	2019年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
有効求人倍率(倍)	1.62	1.63	1.63	1.63	1.63	1.63	1.63	1.62	1.61	1.59	1.59	1.57	1.57
新規求人倍率(倍)	2.40	2.40	2.41	2.48	2.50	2.42	2.48	2.43	2.36	2.34	2.45	2.28	2.44
正社員有効求人倍率(倍)	1.13	1.13	1.15	1.14	1.15	1.16	1.16	1.15	1.15	1.14	1.14	1.13	1.13

出典：厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

## (3)職業別有効求人倍率の推移

◆ハローワークにおける専門的・技術的職業の有効求人倍率は前年同月より 0.04 ポイント低下して 2.25 倍となった。3 カ月連続の低下であり、専門的・技術的人材の不足感はやや緩和傾向にあるのではないと思われる。

◆最も有効求人倍率が上昇したのは「建設・採掘の職業」であり、対前年同月比で 0.55 ポイント上昇して 5.92 倍となり、次いで、「建築・土木・測量技術者」が同 0.53 ポイント上昇して 7.03 倍となった。建設技術者と建設技能工の人材不足は依然として厳しい状況が続いている。

【ハローワークにおける職業別有効求人倍率(除パート)の推移】

	2018年10月	11月	12月	2019年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
職業計	1.45	1.49	1.54	1.51	1.49	1.43	1.35	1.33	1.37	1.40	1.41	1.42	1.43
専門的・技術的職業の有効求人倍率	2.29	2.38	2.50	2.43	2.35	2.24	2.04	2.01	2.11	2.18	2.21	2.23	2.25
開発技術者	2.64	2.76	2.84	2.68	2.66	2.54	2.34	2.28	2.40	2.36	2.40	2.41	2.27
建築・土木・測量技術者	6.50	6.78	7.06	6.82	6.78	6.51	5.91	5.92	6.33	6.75	6.81	6.89	7.03
情報処理技術者	2.62	2.64	2.74	2.65	2.65	2.57	2.40	2.36	2.43	2.44	2.45	2.46	2.41
医師、歯科医師、獣医師、薬剤師	5.47	5.54	5.84	5.96	6.04	5.94	4.86	4.90	4.51	4.47	4.43	4.45	4.46
保健師、助産師、看護師	2.50	2.61	2.83	2.76	2.65	2.53	2.24	2.21	2.31	2.32	2.35	2.36	2.47
医療技術者	3.14	3.21	3.33	3.26	3.29	3.15	2.82	2.73	2.94	3.05	3.18	3.12	3.17
その他の保健医療の職業	2.14	2.19	2.25	2.19	2.17	2.13	1.99	1.97	2.10	2.18	2.21	2.25	2.28
社会福祉専門の職業	3.29	3.42	3.62	3.51	3.30	3.08	2.76	2.77	3.01	3.22	3.32	3.42	3.43
美術家、デザイナー、写真家	0.46	0.46	0.47	0.46	0.46	0.43	0.40	0.37	0.39	0.40	0.40	0.39	0.39
事務的職業	0.46	0.47	0.48	0.49	0.51	0.48	0.44	0.43	0.43	0.45	0.45	0.46	0.47
販売の職業	2.05	2.1	2.17	2.16	2.13	2.07	1.96	1.94	1.99	2.00	2.01	2.02	2.02
サービスの職業	3.00	3.06	3.20	3.10	3.03	2.91	2.83	2.88	2.99	3.06	3.11	3.10	3.13
生産工程の職業	1.86	1.90	1.95	1.90	1.88	1.79	1.73	1.69	1.71	1.68	1.68	1.68	1.66
輸送・機械運転の職業	2.58	2.68	2.77	2.74	2.73	2.66	2.57	2.52	2.61	2.61	2.63	2.65	2.69
建設・採掘の職業	5.37	5.69	5.76	5.49	5.46	5.37	5.21	5.21	5.43	5.60	5.73	5.81	5.92

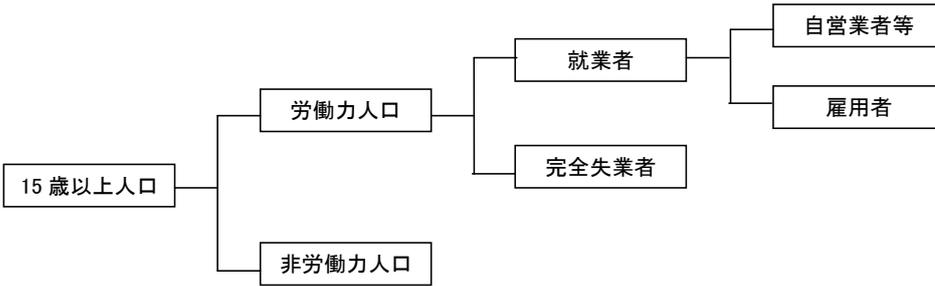
出典：厚生労働省：一般職業紹介状況より作成

【職業別有効求人倍率(除パート)の対前年同月比】

	2018年10月	11月	12月	2019年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
職業計	0.10	0.10	0.08	0.06	0.06	0.06	0.05	0.03	0.01	0.00	-0.01	-0.02	-0.02
専門的・技術的職業	0.11	0.10	0.07	0.06	0.07	0.09	0.08	0.05	0.02	0.00	-0.01	-0.02	-0.04
開発技術者	0.19	0.21	0.16	0.06	0.05	-0.01	-0.10	-0.07	-0.06	-0.22	-0.18	-0.14	-0.37
建築・土木・測量技術者	0.47	0.40	0.40	0.32	0.36	0.40	0.44	0.57	0.72	0.69	0.49	0.49	0.53
情報処理技術者	-0.05	-0.09	-0.08	-0.12	-0.07	-0.03	-0.07	-0.08	-0.12	-0.13	-0.17	-0.13	-0.21
医師、歯科医師、獣医師、薬剤師	-0.98	-1.23	-1.40	-1.00	-0.74	-0.56	-0.88	-0.50	-1.24	-1.34	-1.26	-1.09	-1.01
保健師、助産師、看護師	-0.04	-0.08	-0.12	-0.07	-0.06	0.02	0.00	-0.01	-0.05	-0.09	-0.08	-0.10	-0.03
医療技術者	0.21	0.18	0.12	0.09	0.13	0.21	0.15	0.16	0.11	0.08	0.09	-0.03	0.03
その他の保健医療の職業	0.20	0.18	0.17	0.16	0.19	0.27	0.22	0.20	0.21	0.21	0.19	0.12	0.14
社会福祉専門の職業	0.23	0.21	0.15	0.17	0.22	0.24	0.25	0.18	0.19	0.17	0.20	0.21	0.14
美術家、デザイナー、写真家	-0.03	-0.04	-0.05	-0.06	-0.07	-0.09	-0.24	-0.28	-0.07	-0.07	-0.08	-0.08	-0.07
事務的職業	0.04	0.04	0.04	0.03	0.04	0.02	0.03	0.02	0.00	0.01	0.00	0.00	0.01
販売の職業	0.22	0.21	0.18	0.19	0.15	0.15	0.10	0.07	0.03	0.01	-0.03	-0.03	-0.03
サービスの職業	0.13	0.08	0.03	0.00	0.05	0.12	0.14	0.13	0.12	0.12	0.15	0.07	0.13
生産工程の職業	0.23	0.21	0.18	0.15	0.10	0.06	0.04	0.01	-0.02	-0.09	-0.12	-0.15	-0.20
輸送・機械運転の職業	0.24	0.26	0.23	0.23	0.20	0.21	0.16	0.13	0.14	0.11	0.09	0.06	0.11
建設・採掘の職業	0.78	0.83	0.83	0.69	0.63	0.69	0.63	0.58	0.58	0.51	0.59	0.51	0.55

<用語解説>

1. 労働力人口・就業者・雇用者・完全失業者



\* 労働力人口

15歳以上で働く意思と能力を持つ者。

\* 非労働力人口

15歳以上で働く意思や能力のない者。

\* 就業者

賃金、給料、諸手当、営業収益、手数料、内職収入など収入(現物収入を含む。)になる仕事を少しでもした者。

\* 完全失業者

仕事がなく仕事をしなかった者のうち、就業が可能でこれを希望し、かつ仕事を探していた者、および仕事があればすぐに就ける状態で過去に行った求職活動の結果を待っている者。

\* 自営業者

株式会社等の法人を設立せずに自ら事業を行っている者。

\* 雇用者

会社・団体・官公庁または自営業主や個人の家庭に雇われて給料・賃金を得ている者。

2. 就業率

「15歳以上の人口」に占める「就業者」の割合

3. 完全失業率

「労働力人口」に占める「完全失業者数」の割合

4. 有効求人倍率

有効求人数／有効求職者数(倍)

5. 新規求人倍率

新規求人数／新規求職者数(倍)

\*「新規求人」とは、その月に受け付けた求人をいい、前月から未充足のまま繰り越された求人と新規求人との合計を「有効求人」という。

6. 充足率

(就職件数／新規求人数) × 100 (%)